

## 2020 年本屋大賞ノミネート 10 作



「本屋大賞」は、新刊書の書店で働く書店員の投票だけで選ばれる賞です。過去一年の間、書店員自身が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票します。数ある本に関する賞の中でも、注目度の高いものです。4月7日の大賞発表前にノミネート作品を読んで、受賞作品を予想してみませんか？

## ノミネート作品（作品名五十音順）

『線は、僕を描く』	砥上裕将	講談社
『店長がバカすぎて』	早見和真	角川春樹事務所
『夏物語』	川上未映子	文藝春秋
『熱源』	川越宗一	文藝春秋
『ノースライト』	横山秀夫	新潮社
『むかしむかしあるところに、死体がありました。』	青柳碧人	双葉社
『ムゲンのi』	知念実希人	双葉社
『medium 霊媒探偵城塚翡翠』	相沢沙呼	講談社
『ライオンのおやつ』	小川糸	ポプラ社
『流浪の月』	凧良ゆう	東京創元社

### 全国図書館を使った 調べる学習コンクール・優秀賞

市の入賞・入選作品 39 点を全国コンクールに出品しました。全国応募総数 116,554 作品の中から、**宗像中学校 2 年の今井更蒼さん**が『トイレについて調べたら、今の社会が見えてきた！（さまざまな視点からのトイレ研究）』で**優秀賞（読売新聞社賞）**を受賞しました。2月22日に東京で表彰式が開催されました。作品の複製を宗像ユリックス図書館 2 階に3月31日まで展示しています。

ピックアップ

## 『ライオンのおやつ』

小川糸 ポプラ社

一人暮らしの海野雫は、病と闘っていたが、医師から余命を告げられる。最期の時間を過ごす場所として雫が選んだホスピスは、「ライオンのいえ」。

そこでは毎週日曜日に、入居者がもう一度食べたいと思うおやつをリクエストできる「おやつの日」があった。

